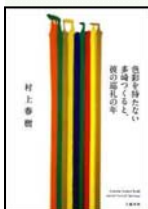


患者図書室“いきいきの森”だより

『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』村上春樹

良いニュースと悪いニュースがある。多崎つくるとして駅をつくることは、心を世界につなぎとめておくための営みだった。あるポイントまでは…。

新作が発表される度ニュースになる作家は、国内では村上春樹をおいて他にいないのではないのでしょうか。今年 2 月、『騎士団長殺し』が 4 年ぶりの新作としてやはり話題になりました。本書はその前作となります。村上作品未読の方も是非一度手に取って下さい。



4 月の貸出テーマランキング

1 位 女性の健康

『月経困難症に悩む女性の支援ガイド』

『子宮がん・卵巣がん全書』他

2 位 脳・神経系

『ゼロからわかる脳梗塞』

『脳梗塞の予防と最新治療』他

3 位 代替療法

『呼び起こす総合治癒力』他



図書の紹介

今月は糖尿病に関する本をご紹介します。一口に糖尿病と言っても、成因によって 1 型と 2 型に分類され、1 型は思春期から 35 歳前後に発症のピークがあり、2 型は中高年以降に増えてきます。今回ご紹介する二冊は糖尿病にかかる年齢別に書かれたものです。是非ご覧下さい。



『60歳からの糖尿病』阪本 要一/著

高齢者の糖尿病は、合併症の頻度が高い、自覚症状が出にくい、薬剤の蓄積が起こりやすい、それまでの生活習慣がなかなか変えられないなどの問題点を抱えています。本書では必要な知識の解説、加齢による心身の変化に対する細やかな対応や工夫を詳しくアドバイスします。

『小児糖尿病・ヤング糖尿病』田嶋 尚子/監修

成長発育期で、学校での集団生活を要する小児糖尿病や進学・就職・結婚など大切な人生の節目を迎えるヤング糖尿病の患者さんやその家族や学校関係者必携の糖尿病ガイド！
欧米で広く行われているカーボカウント方式による食事療法も紹介しています。

